

令和元年度

自己点検・評価報告書

※この報告書は、「自己評価報告書」に学校関係者評価委員会の
評価及び学校設置者所見を追記してまとめたものである。

熊本学園大学附属高等学校

目 次

重点目標（１）学校の教育目標の共有	2
重点目標（２）互いに協力し合う教育活動	3
重点目標（３）充実した学校生活	5
重点目標（４）学習環境の充実	7
重点目標（５）生徒及び教職員の心の健康	9
学校関係者評価結果	11
学校設置者所見（理事長所見）	13

<p>本校の教育目標</p>	<p>全人教育による人物育成 建学の精神「師弟同行」「自由闊達」「全学一家」に基づく人物の育成と、生徒の誓い「学業に精励し英知を磨く」「情操を陶冶し気品を高める」「心身を鍛錬し剛気を養う」に具現されている全人教育とを通して、広く社会の健全有為の人物を育成する。</p>
----------------	--

<p>重点目標(1)</p>	<p>学校の教育目標の共有</p>
----------------	-------------------

<p>【評価項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者、教職員が学校の教育目標を理解しているか ・学校の教育目標について社会に公表されているか

<p>【取組内容】</p> <p>本校 HP や学校案内パンフレット、また生徒手帳等に掲載するなどによって、生徒・保護者及び教職員に周知するとともに社会に対しても広く公表している。</p> <p>新入生は、入学前の集団宿泊研修「スプリングキャンプ」において、生徒手帳に掲載された学校の教育目標や生徒の誓いを学ぶ。</p> <p>【成果事項】</p> <p>生徒、保護者及び教職員対象の学校評価アンケートにおいて、学校側が「学校の教育方針や教育目標をわかりやすく説明している」という設問に対して、生徒の 69%、保護者の 86%、教職員の 75%が「そう思う・どちらかといえばそう思う」と回答した。全体的に学校の教育目標は理解されている結果となった。</p> <p>【課題・改善点】</p> <p>本校の HP や学校案内パンフレット等で公表しているが、教育目標の説明や認識に個人差があり、周知が十分とはいえない。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>生徒の誓いに謳う知・徳・体の養成、教育目標に掲げる全人教育の実現のため、さらに教職員間の指導目標の共有と意思統一が必要である。そのためには教科の目標、学年の目標、進路の目標、生活の目標等を各部署において設定し、目標達成のための具体的な計画を立案して、教職員が一致協力して指導体制を整える必要がある。教科会・学年会・部会の充実を図る。</p>

<p>本校の教育目標</p>	<p>全人教育による人物育成 建学の精神「師弟同行」「自由闊達」「全学一家」に基づく人物の育成と、生徒の誓い「学業に精励し英知を磨く」「情操を陶冶し気品を高める」「心身を鍛錬し剛気を養う」に具現されている全人教育とを通して、広く社会の健全有為の人物を育成する。</p>
----------------	--

<p>重点目標(2)</p>	<p>互いに協力し合う教育活動</p>
----------------	---------------------

<p>【評価項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒主体の活動を行っているか ・「自由闊達」、生徒が自ら考え行動する機会が与えられているか ・熱心な指導が行えているか

<p>【取組内容】</p> <p>本校には「自分で選ぶ。自分で学ぶ」という教育の特色があり、クラス選択では個人の希望を最大限に尊重している。また、自分に合う科目の選択ができるカリキュラムで、それぞれにあわせた受験様式に応えることが可能である。</p> <p>また、大学受験の成功を目指すだけでなく、その先の人生を豊かに生きる「心」と「力」を養う深学科プログラムを導入し、生徒自ら考え判断し、発信していく「探究活動」を行っている。教員は、生徒の自主性を尊重し、生徒の成長を支えている。</p> <p>【成果事項】</p> <p>「親切で指導に情熱が感じられる」「全体として生徒の面倒見が良い」と回答した生徒と保護者の割合は全体の8割を超えた。生徒及び保護者と教員の関係は概ね良好であると考えられる。</p> <p>【課題・改善点】</p> <p>「互いに連携協力して教育に取り組んでいる」と「全体として生徒の面倒見が良い」については、生徒・保護者の評価に比較して、教職員の中で「そう思う」の評価はやや低い傾向にある。教員間で指導目標を共有し、生徒指導に反映されることが求められる。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>生徒の発達段階においては、それまでの受け身の姿勢から、徐々に能動的な姿勢に変わっていくべき年代である。学習面だけでなく、その基礎となる生活面においても自律的な行動が求められる。そのためには、家庭と学校とが協力関係を構築して、子</p>

ども達の指導に当たる必要がある。保護者会やクラスシーを利用した情報交換の場をさらに充実させる取り組みを行ってゆきたい。

<p>本校の教育目標</p>	<p>全人教育による人物育成 建学の精神「師弟同行」「自由闊達」「全学一家」に基づく人物の育成と、生徒の誓い「学業に精励し英知を磨く」「情操を陶冶し気品を高める」「心身を鍛錬し剛気を養う」に具現されている全人教育とを通して、広く社会の健全有為の人物を育成する。</p>
----------------	--

<p>重点目標(3)</p>	<p>充実した学校生活</p>
----------------	-----------------

<p>【評価項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育祭や文化祭など学校行事は充実しているか ・ 部活動の内容は適切であるか ・ 生徒主体のボランティア活動や生徒会活動は充実しているか
--

<p>【取組内容】</p> <p>体育祭や文化祭は生徒会が主体となって、行事運営を行っている。また、年間を通して、海外ホームステイプログラム（希望者）、水泳大会、クラスマッチ、強歩会、持久走大会など多数の行事を実施している。</p> <p>部活動においては 20 種類の運動部と 14 種類の文化部、5 種類の同好会の中から、生徒は希望して入部することができる。令和元年度の出場実績は、全国高校総体・総文祭に 43 名、九州高校総体・総文祭に 69 名が出場している。</p> <p>また、ボランティア活動も盛んで、街頭募金活動や福祉施設へのワークキャンプなど、生徒が主体となって積極的に活動している。</p> <p>【成果事項】</p> <p>学校評価アンケート結果によると、「充実した学校生活を送っている」と回答した生徒及び保護者は 90%を超え、教職員も 89%と高い比率であった。</p> <p>また、「部活動の練習内容や練習量は適切である」と回答したのは教職員、保護者ともに 70%を超え、生徒が 63%であった。</p> <p>最後に、「生徒主体の活動（ボランティア活動や生徒会活動）は充実していると回答した教職員、保護者はともに約 60%、生徒は 71%という結果であった。</p> <p>【課題・改善点】</p> <p>学校生活においては充実度が高く、このまま維持できるよう努力していく必要がある。部活動や生徒会活動においては、概ね良い評価が得られたが、練習内容や量の見直し、生徒会活動の更なる充実など、工夫が必要であると考えている。</p>
--

【今後の取組】

文武両道を標榜するもとでは、日常の学習活動だけではなく、年間の各種行事や放課後の部活動、あるいは休日のボランティア活動などにも生徒は積極的に参加することが大事である。それらの活動に対して生徒自身が興味関心を持ち自発的・継続的に取り組むために、教職員は担任としてあるいは顧問の立場として、適切な助言や情報の発信を適宜行いたい。

<p>本校の教育目標</p>	<p>全人教育による人物育成 建学の精神「師弟同行」「自由闊達」「全学一家」に基づく人物の育成と、生徒の誓い「学業に精励し英知を磨く」「情操を陶冶し気品を高める」「心身を鍛錬し剛気を養う」に具現されている全人教育とを通して、広く社会の健全有為の人物を育成する。</p>
----------------	--

<p>重点目標(4)</p>	<p>学習環境の充実</p>
----------------	----------------

<p>【評価項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 環境の整備が十分であるか ・ 進路選択における情報が十分であるか ・ 学校は清掃が行き届いているか
--

<p>【取組内容】</p> <p>2019 年度までに全ての教室に電子黒板を設置した。また、教員に iPad を配付し、授業準備、会議報告、生徒・保護者への緊密な連絡が「いつでも」「どこでも」実施できる環境を整えた。</p> <p>幅広い進路選択のため、大学院・大学生の話「ようこそ先輩」や、大学教授による出張講義、職業研究「キャリアトーク」では市役所から職員が来校し出張講義を実施した。</p> <p>また、清潔な環境で学習できるよう、平成 30 年度から「全校掃除」の徹底に取り組み、いつまでもきれいな校舎を保つよう努めている。</p> <p>【成果事項】</p> <p>学校評価アンケートの回答結果によると、「ICT 環境は充実している」と回答した教職員は 89%、保護者は 71%、生徒が 81%と概ね良い評価となった。</p> <p>次に、「進路・進学情報の提供は適切である」と回答したのは、教職員、生徒共に 80%を越え、保護者が 78%であった。しかしながら「キャリア教育は充実している」と回答した教職員は 65%、保護者 70%、生徒が 75%と、良い評価が多かったものの、他の設問と比べると良い評価の比率が若干低く感じられた。</p> <p>最後に、「校内は清掃が行き届いている」と回答したのは、教職員が 69%、保護者が 87%、生徒が 74%という結果だった。</p> <p>【課題・改善点】</p> <p>まず、ICT 環境の設備においては、概ね良い評価であったことや、アンケート内の</p>

「施設整備は充実している」と回答した教職員が 89%、保護者 96%、生徒が 95%と非常に高い満足度を得られていることを踏まえ、今後も施設充実に向けて努めていく必要がある。また、全クラス電子黒板の導入や、教員への iPad の支給を行ったが、使用する全教員が同じ水準で活用出来るよう、引き続き教員研修を行っていく必要がある。

また、「キャリア教育の充実」においては、本校で様々な取組を実施したものの、評価が伸び悩む結果となった。教職員の評価が保護者、生徒の回答結果に比べて低いことから、もう少しキャリア教育に力を入れるべきだと考える教職員が多いのではないかと推測できる。

【今後の取組】

キャリア教育の充実においては、外部講師を招いての出張講義を聴講させる取組みを継続したい。さらに、ホームルーム活動においては職業に関する進路情報誌等を活用しながら、大学進学の前にある自分自身の将来にも目を向けさせ、生徒の職業観・勤労観の養成を図りたい。

校内の清掃において、現在「全校掃除」に取り組んでいるが、目標の「無音掃除」の徹底は出来ていない状況である。より集中して、校内清掃に取り組むことで、「校内は清掃が行き届いている」の項目に対する良い評価は伸ばすことが出来ると考えられる。短時間集中の「無音掃除」の徹底を次年度は取り組んでいきたい。

<p>本校の教育目標</p>	<p>全人教育による人物育成 建学の精神「師弟同行」「自由闊達」「全学一家」に基づく人物の育成と、生徒の誓い「学業に精励し英知を磨く」「情操を陶冶し気品を高める」「心身を鍛錬し剛気を養う」に具現されている全人教育とを通して、広く社会の健全有為の人物を育成する。</p>
----------------	--

<p>重点目標(5)</p>	<p>生徒及び教職員の心の健康</p>
----------------	---------------------

<p>【評価項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が相談できる環境が整っているか ・生徒からの相談に対して、学校が組織的な対応ができていますか

<p>【取組内容】</p> <p>ガクフなんでも SOS アカウント（※1）を開設し、普段の生活上の悩み、いじめ、家庭内暴力など生徒が抱えている問題を把握し対応出来る環境を整えた。</p> <p>また、週3日学校カウンセラーが来校し、生徒・保護者、教職員のカウンセリングを行っている。</p> <p>（※1）ガクフなんでも SOS アカウント：</p> <p>LINE または Viber（匿名可）で、生徒が相談できるシステム。相談内容は、一般の教職員には公表されず、特定の教員、養護・カウンセラーで情報共有される。</p> <p>【成果事項】</p> <p>2019年4月より運用開始した【ガクフなんでも SOS アカウント】は、2020年3月現在、LINE 登録申請34名、相談件数23件の実績が得られた。</p> <p>令和元年度に実施した学校評価アンケートにおいても「質問27：困ったことや悩みを相談できる先生がいる」の設問に対し、半数以上が良い評価をつけていた。</p> <p>【課題・改善点】</p> <p>学校評価アンケートの回答結果によると、困ったことや悩みを相談できる「友人や先輩」がいると回答した生徒は90%、相談できる「家族」がいると回答した生徒は86%であった。生徒にとって相談できる「教員」がいると答えた割合は60%に満たないことから、友人や先輩、家族と比較すると、相談できる教員の割合が低いことが分かる。</p> <p>また教職員が行った自己評価アンケート結果によると、「組織的な対応ができています」と解答した教職員は62%だった。半数を超える教職員が、組織的な対応ができて</p>
--

いると感じているものの、今後はさらに高い割合で「組織的な対応」求められる。

【今後の取組】

生徒がより相談しやすい環境をつくっていく必要がある。ガクフなんでも SOS アカウントの存在について、令和元年度は全校集会にて校長から周知されたが、引き続き全校生徒に周知していく必要がある。

また、生徒からの悩み、相談内容は各学年での情報共有に加え、特別支援対策委員会の開催回数を増やし、より密な情報共有と対策について専門家を交えて検討をしていく。相談をうけた教員が1人で対応するのではなく、組織として対応できるように組織作りに努める。また、生徒だけでなく、教職員のストレス軽減も視野に、相談体制や勤務態勢の見直しに努めていく。

学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員（令和元年度）

- 久保 貴資・・・奨学会会長
- 高木 泰宏・・・奨学会副会長
- 古川 知幸・・・奨学会副会長

学校関係者評価

評価実施日：令和2年4月10日(金)

出席者：学校関係者評価委員、熊本学園大学附属高等学校・附属中学校管理職

評価委員会の流れ

令和元年度熊本学園大学附属高等学校副校長の林より、令和元年度の重点目標および評価項目の説明。重点目標（1）～（5）の達成状況および今後の改善点について報告を行う。

続けて、令和2年度熊本学園大学附属高等学校副校長の城本より、令和元年度の自己評価結果を踏まえた次年度（令和2年度）の重点目標の設定や具体的取組について説明を行う。

令和元年度の評価結果を基に、学校関係者評価委員が評価を実施する。

(学校関係者評価委員会所見)

アンケート結果については概ね良好だと思う。

課題点としては、【全体としてのリスクマネジメントの強化】が挙げられる。例えば、何か問題が発生し、保護者から意見があった場合に学校がどのように対応していくか、組織としてどのように動くべきか事前に考えておく必要がある。問 29「組織的な対応ができている」の設問に対する教職員の回答において「そう思う・どちらかといえばそう思う」が全体の6割と低いことから、担任や該当の教職員だけが問題を抱えるのではなく、学校全体で問題を把握し、解決していけるよう「情報の共有」と「責任の分担」は必要である。今後は更に奨学会との意見交換を活発に行い、学校と奨学会のスムーズな連携をはかっていきたい。

問 13「奨学会や保護者会は適切に行われている」の設問に対し、保護者の「そう思う」と回答した割合が4割、教職員が1割程度であったため、もう少し奨学会の役員として今後の対応を考えていく必要がある。問 5「充実した学校生活」においては、9割の生徒が肯定的に回答しており、保護者としても安心できる結果となった。しかしながら、問 35「仕事上のストレス」、問 36「心のゆとり」の設問において、教職員のストレス値が高いのが気になった。近年受験のスタイルが変わるなど教育現場の環境の変化はめまぐるしく、教職員のストレス対策が課題といえる。今後の課題もあるが、全体としては良い評価を得られている。

令和2年4月10日

学校関係者評価委員

(理事長所見)

令和元年度自己点検・評価報告書の取組目標に対して、取組結果及び進捗状況はおおむね良好といえるが、それぞれの項目において改善すべき事項も少なからず存在する。

本校の学校運営は、私学という特性上、建学の精神に基づいて、自律的に行われているが、令和元年度において特筆すべき事項として、次期学習指導要領が令和3年度より年次進行で実施されるため、令和元年度は移行期間の初年であったことが挙げられる。

次期学習指導要領においては、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」が問われることに照準を合わせて、学校の教育目標を定めており、教員と生徒が目標を共有して教育と学習に取り組んだことが認められる。

次年度に向けては、学校目標を念頭に総務部等の5つの部、学年、教科及び事務室等がそれぞれの事項に対して適切な小目標を設定し、改善に向けて継続的に努力していただきたい。

ただし、次の二つの点については留意されたい。

アンケート項目に設定された、教職員が回答する「組織的な対応」「連携協力」「授業改善」「自主的な研修や研鑽」等の集計結果については、学校法人が所轄する中期経営計画の行動計画(報告)に記載された達成及び進捗の状況との乖離が見られる箇所があるため、アンケートに回答した個々の教職員の心象と行動計画の報告を行った担当者及び管理職との認識に差が生じているのではないかと懸念される。

また、「仕事上のストレス」「心にゆとり」の項目については、約三分の二近い教職員が否定的に回答しており、看過できない。

学校法人は経営の安全性と自立性を担保しながら、各設置学校の運営を見守っており、付属高校においては、より手厚い教育を実現するために、人材の育成と業務の見直しについて、思索生知を尽くして検討を重ねることを期待したい。

令和2年6月3日

学校法人熊本学園
理事長 目黒純一